

令和6年度 博多区地域包括ケア推進会議 議事録

1. 日時

令和6年11月26日（水）18:00～19:40

2. 場所

博多区役所5階 集団指導室

3. 出席者

委員（15名出席/4名欠席）、事務局（6名）地域包括支援センター（8名）

4. 会議次第

- | |
|-----------------------------|
| I 開会 |
| II 委員自己紹介 |
| III 会長・副会長選出 |
| IV 議題 |
| 1 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進 |
| 2 博多区高齢者に関わる統計等報告 |
| 3 博多区の認知症高齢者への取り組み |
| 4 博多区の高齢者の虐待防止・権利擁護の関する取り組み |
| 5 博多区の介護予防に関する取り組み |
| 6 その他の博多区の取り組み |
| 令和6年度地域ケア会議の報告 |
| ・在宅医療・介護部会 |
| ・権利擁護部会 |
| ・生活支援・介護予防部会 |
| V 意見交換 |
| ・委嘱委員（各所属団体）からの活動報告 |
| ・博多区の取り組みに関するご意見・ご提案等 |
| ・福岡市レベルで検討が必要と思われること |
| ・その他 |
| VI 閉会 |

5. 会議経過

- | |
|-----------------------------------|
| I 開会挨拶 |
| 【博多区保健福祉センター所長】
挨拶 |
| II 委員自己紹介 III 会長・副会長選出 |
| 【事務局】
今年度新任委員について説明。議長への議事進行委任 |
| 【委員】
委員自己紹介 |

IV 議題1 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進 議題2 博多区高齢者に関わる統計等報告 議題3 博多区の認知症高齢者への取り組み 議題4 博多区の高齢者の虐待防止・権利擁護の関する取り組み 議題5 博多区の介護予防に関する取り組み
【事務局】 議題1～5について報告。(資料P1～P12) 【委員】 質疑応答なし
議題6 その他の博多区の取り組み
令和6年度地域ケア会議の報告 ・在宅医療・介護部会 ・権利擁護部会 ・生活支援・介護予防部会
V 意見交換
・委嘱委員（各所属団体）からの活動報告 ・博多区の取り組みに関するご意見・ご提案等 ・福岡市レベルで検討が必要と思われること ・その他 【委員】 ●医師会として、救急医療のひっ迫を非常に危惧している。福岡県や福岡市の入院受入れのためのベッド数と、在宅で医療を受けている人の数は同数に近い状況となっている。コロナ禍で救急病院にコロナ患者が押し寄せたが受け入れができずにたらい回しとなったように、今後の高齢者数の増加に伴い在宅医療を必要としている方々の入院数が増え、在宅医療患者でも同様の状況が起こり得る。救急医療を含めた医療を守るためには、在宅医療の充実が求められており、訪問看護やケアマネージャーとの専門職による連携や、健康寿命の延伸のための取り組みが重要であると考え。そこで博多区医師会では、今年度から4つの目標を軸に取り組む方向性である。 1つ目は認知症への対応に力を入れる。 2つ目は施設や在宅での転倒予防など、骨粗鬆症の予防。 3つ目は栄養状態の改善。主にはフレイル予防、サルコペニア等の体力低下の予防、口腔ケアによる誤嚥防止などが重要。 4つ目は災害への備え。特に博多区は単身高齢者数も多く、早急な対応が必要。 災害を含め有事の際や救急要請の際は、本人・家族から事前に意思表示や確認が必要であり、ACPのフォーマットによる普及や、在宅医療の充実のために看取りができる医師を増やす必要がある。 ●医師会等と行政、区内の職能団体等で連携し、現場間の意見を出し合い、研修会や講演会を開催するなど、横のつながりを活用して医療と介護連携のための取り組みを行っている。他にも、博多警察署や博多消防署とも現場で困った際に相談できる関係性を構築していくことが重要。博多区の単身高齢者世帯の問題や複合課題に対して、各種団体の横のつながりを一層強化し、地域包括ケアシ

ステム推進に臨む必要がある。

●孤独死の問題については、地域との関わりが薄い方、認知症の方など、支援が必要な方には多職種で連携し、ACP の活用やマイナンバーカードの利用促進など、有事の際にも本人の意思に沿って支援できる体制があればよい。

●救急医療は、消防署も含めてかなりひっ迫しており、人手不足の状況である。働き方改革も必要だが、昼間受診を勧め、土日や夜間受診を減らすことで救急要請・救急医療がひっ迫しないための対応が必要。自治会等でも午前中や午後の早いうちに受診するよう促進してほしい。

【委員】

●認知症の方が増えている中で服薬問題があり、いかに確実な服薬につなげるかが課題。

●周囲とのつながりが希薄にならないためにも、早い段階で公民館活動への参加や地域とのつながりづくりができればよい。

●薬剤師会としては、セーフティーネットの役割として訪問薬剤があるため、充実させていきたい。

【委員】

●11/26 の権利擁護部会の報告を踏まえて、成年後見制度を広く市民に周知し、利用促進するとともに、本人の意思決定支援のためには、支援拒否をする人との信頼関係構築のためのスキルを学ぶ機会が必要である。

【委員】

●認知症になりやすいのは人との交流がない、人との会話が少ない方が多い印象であり、特に高齢者の夫婦のみや1人住まいの方が多い。そのような方々が、地域で健康に過ごし、横のつながりを持つためには、自治会や公民館活動など、地域に引っ張り出す必要がある。自治協議会でも地域特性を捉えて、様々な活動を展開している。

●オートロック式のマンションも増えてきており、人との交流が減少傾向にある。地域を支えているそれぞれの役割が一生懸命やっているが、ふれあいサロン等の開設や活動においても、サロンボランティアの人数下限に規制があると、担い手不足に繋がるため、そのような規制は低くしてほしい。

【委員】

●個人情報の縛りが支援のネックとなることがある。民生委員活動では、普段から支援が必要な方の有事の際に、家族やキーパーソンの連絡先等は、個人情報に配慮しつつ隣組や自治会レベルでは情報共有しておきたい。

●民生委員には守秘義務があるため、個人情報は厳重に管理しているが、人の生命が何より重要であると認識を持ちつつ、民生委員として把握する高齢者の個人情報の管理は、慎重に対応していきたい。

【委員】

●11/1 の生活支援・介護予防部会でも協議したが、民生委員のなり手不足の問題や、民生委員への負担軽減を図る対応が必要と考える。

●自治会長として把握した高齢夫婦の事例がある。ある民生委員が高齢のご夫婦から朝、体調不良の相談をされ、夫婦共に救急搬送が必要な事例に対応し、救急隊員から民生委員の救急車への同乗

を求められたため同乗し、病院で入院手続の一部をしたそうだ。このような事例でもわかるように、民生委員の負担は大きく、その軽減や業務の線引きが必要と考える。

【委員】

●災害時 BCP が課題。横の繋がりが大切。単身世帯の方はまずは挨拶から始めて、有事の際に支援できるためのつながりが重要であることを話し、何かあった際には「助けて」と言える関係づくりが必要。また、悪天候時、災害時に訪問することは非常にリスクが高い。訪問看護ステーションごとに多少の違いはあるものの、出来ることとできないことがあることも伝えていきたい。

●自治協議会や民生委員児童委員協議会が支援しているふれあいサロン等の地域活動の取組みが紹介されたが、事業所でも各施設が独自にサロン等を開催・支援したり、訪問看護活動の中で対象者の支援情報を持っていることもあるため、このような会議を通して博多区内の横のつながりを持つことで、地域包括ケアシステム推進のための関係性構築につながる。

【委員】

●9月の在宅医療・介護部会の中で、救急隊から病院に引き継ぐ際に対象者情報があれば良いため、救急車に必ず同乗しなければいけないものではないと消防署より助言があった。緊急時の連絡先や本人の意思を事前に記載しておく安心情報キット（社会福祉協議会作成）や消防署から共有していただき救急シートの活用を強化していきたい。

●全国的にこども 110 番という仕組みがある。他都市では高齢者 110 番のような高齢者が相談できる場があると聞いており、福岡市でもそのような仕組みがあればよい。

【委員】

●高齢者に関連する 110 番通報は増えており、行政とは認知症高齢者一時保護事業等で連携する機会があるが、今後もケース対応を通して連携をお願いする。

【委員】

●ケアマネや民生委員児童委員等の救急車同乗については無理のない範囲内でお願いしており、義務ではない。搬送先に引き継ぐ情報があれば、その後の本人支援につながるため、引き続き協力をお願いしたい。

【委員】

●区役所の中でも地域支援課や企画振興課が自治会や校区レベルでの活動等を支援しているが、その活動の中でも担い手不足は深刻な課題として受け止めている。自治協議会や民生委員児童委員等の地域の担い手をどう増やしていくか、地域の皆様と行政と一緒に考え取り組むことが、やがては地域の力につながり、意識の高まりにもつながると考えている。

●民生委員のなり手不足に関しても、地域活動に参加する人を増やしていくなどの民生委員の担い手発掘に繋がるような取り組みも必要である。

●個人情報保護については法律で決まっているものであるが、本人の了承があれば支援者へ共有はできるため、緊急時に備えて何をどこまで共有してよいか、事前に本人同意を得ておくことが重要であり、日頃からできる備えである。

VI 閉会